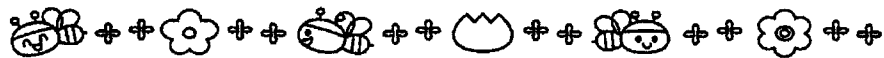


2020年度ひまわり組クラスだより 5月懇談会号

コロナウイルスによる感染拡大防止のためご協力いただきありがとうございます。新年度が始まり、子どもたちと仲良くなれるように一人一人とじっくり関わりたいと思っていた矢先の自粛要請でした。ご家庭での戸惑いや不安なども多いと思います。今できることを取り組んでいき、ひまわり組全員で過ごせる日を心待ちにしています。

感染拡大防止のため、第一回懇談会が中止となりました。ひまわり組で大切にしたいことを書面でお伝えしたいと思います。わからないことなどあれば、おたずねください。



保育目標

- * 基本的な生活習慣の自立をめざす
- * たくましく、しなやかな体を作る
- * 友だち同士、共感し合いながら意欲的に遊びを広げていけるようにする
- * 仲間の中で、自分の思いを言葉でしっかり表現し、友だちの思いを聞く

4歳児の姿と大切にしたいこと

<自制心と内面の育ち>

4歳児期は「～だけれども…する」というがんばる力、がまんする自制心が育つといわれています。その自制心を育てるためには、「見通し」の獲得が必要になってきます。「今」の欲求だけでなく、今どうしたらいいのかを自分で考えられる力が自制心につながっていくといわれています。 また自分と仲間の違いがわ

かるようになってくる時期でもあります。「できる・できない」「うまい・下手」などの評価に敏感で、自信をなくしやすい時期です。どう見られているかがわかるからこそ「ステキな自分」を見せたいと思っています。「きのうより、ちょっとすごい自分」に気づけるように、大人が支えていく大事な時期です。「うまい・下手」など一つの見方ではなく、いろんな見方を大人がもつことで、いろんな見方があることを伝え、結果だけではなくがんばった過程も丁寧に伝えていながら、自信と意欲を育ててあげたいと思います。 うまくできたときは思いっきりほめ、うまくいかなかったときこそ子どもの次の意欲を引き出す関わりが大事です。言葉のかけ方によっては、逆にプライドを傷つけてしまいます。子どもが本当に必要としていることは何かを考えて丁寧に伝え、一人一人が「自分が好き」と思えるように、自分のすてきなところを発見できるように支えてあげてほしいと思います。

<友だちとのかかわり>

まだまだ体のぶつかり合い・感情のぶつかり合いを通して友だちとの関係性が変わっていき、人と関わることでたくさんの考える力を身につけ、集団の中で自分を発揮していく4歳児。大人に認めてもらえることを根底に、友だちに認めてもらいたい思い、友だちに見届けてもらえる安心感が育ってきます。友だちと一緒に遊び、共感し認められることで、仲間関係が深まるようにみていきたいと思っています。 まず、自分の気持ちや考えを言葉にして、相手の気持ちや考えに耳を傾けられる力が大切だと思っています。うまく言葉にできないこと、友だちの思いがわからないことでまだトラブルも多いですが、まず伝え合うことを大人と一緒にしながら、やがて自分のことだけでなく友だちのことも、みんなで考え合っている方法を見つけたいようにしていきたいと思っています。



<就学にむけて>

4歳児になると、小学校にむけて心配事も出てくるころだと思います。保育園では、毎日の生活や遊びの中で学ぶ力を育てたいと思っています。「数・文字」に興味をもてるように、グループの友だちにおやつなど数えて配ることや、今は記号のようにみえている文字に音があってつながって言葉になることをまず自分の名前から広げていきたいと思っています。そして、書き言葉につながると言われている「話し言葉」が獲得できるようにみていきたいと思っています。「話し言葉」は、目の前に相手が必ずいて、相手と何か共同で成しとげようと努力してやりとりをすること、コミュニケーションが生まれること、人とともに生きることで身につくものといわれています。コミュニケーションを通して相手の立場にたって考え、自分の意見をはっきり表現できる人生で必須のスキルを身につけるためにも話し言葉が大事といわれています。毎日の生活の中でいろいろな人に伝えたい思いがあふれるように過ごしていきたいと思います。学校では、初めて経験することがたくさん待っています。「できる・できない」ではなく学ぼうとする力・挑戦する意欲（学習意欲）を育てたいと思っています。「学習意欲」は困難なことや自信がもてないようなことにあきらめずに取り組む姿や、むずかしいことに何度も挑戦してみようとした経験の積み重ねからつくられていくもの、「意欲」はどのようにしてそれを成しとげたかが大事だと考えられています。失敗や間違いを「悪い」ことだと考える子はチャレンジを恐れ、学ぶチャンスを失ってしまい、経験不足になることで差ができてしまいます。「学ぶ意欲」につながるように、①興味・関心を持つ ②熱中する ③困難ややったことのないことに取り組む ④他者とコミュニケーションをはかる ⑤当番活動など責任を担うことなどを日常の生活の中で大事にしていきたいと思っています。

自分のことを客観的にみることができるほど成長しているからこそ、苦手なところがあることを自分でよくわかってきます。苦手なことがあることを乗り越えていけるように、自分のいいところ・プラスの評価もきちんと自分でもてるように支えてあげたいですね。

